

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2013年12月9日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

年金引き下げやめて 全道各地で 不服審査請求広がる
年金者組合、道生連、道民医連なども呼びかけ 地域社保協などでも準備

12月13日支給分から、年金が3段階で2.5%引き下げられます。今でも多くの年金生活者が、少ない年金額で大変な生活をしています。物価も上がっていて、この上、さらに年金が引き下げられることに対して「暮らしていけない」と不安や不満の声が広がっています。全国で10万人以上の不服審査請求のよびかけに応じて、北海道でもとりくみが準備されています。 **統一提出日は1月31日です**

北海道社保協は、年金者組合と共同して、各加盟団体や個人会員にも、不服審査請求のとりくむことを呼びかけています。社保協では「不服審査請求書」の他、「不服審査申し込み付きチラシ」も用意しました。

年金者組合は、道内4000人以上の不服審査請求をめざしてとりこんでいます。11月末現在、組合員の70%以上を組織したところも生まれています。また、組合員以外にも参加を呼びかけています。桧山(江差町)では、勤医協友の会が行う「ミニディサービス」参加者にも、年金引き下げと不服審査請求のとりくみを呼びかけると、「物価があがって生活が大変」「私も申請します」など声がよせられています。

道生連も会員に対して「積極的に参加しよう」と呼びかけています。すでに複数の組織が100名の目標をもってとりくみはじめています。

道民医連は、1000人以上を目標に、各法人、事業所に、友の会役員・世話人を中心にして、広く患者・利用者さん、また職員の家族への呼びかけを提起しています。すでに道北勤医協では、法人や友の会、法人が共同での働きかけを準備しています。友の会の懇談会などの際にも、参加者に呼びかけることにしています。

地域では、新婦人の会や民商、労働組合なども関わり、とりくみがひろがっています。



小樽、十勝、釧路、西胆振などの社保協でも 学習・宣伝・申請

道内各地の社保協などでも、年金者組合などと共同して、宣伝や学習会の開催をはじめ、独自のチラシなども作るなどして、不服審査請求のとりくみがはじまっています。

西胆振社保協(室蘭など)の学習会には、吹雪の中40名が参加しました。

小樽社保協も年金者組合の目標を上回る300人以上をめざし、共同でチラシをつくって進めています。

十勝社保協は、年金者組合の目標の2倍の400人以上を目標にとりこんでいます。

釧路社保協でも、加盟団体の構成員にも呼びかけることを確認しています。

高齢者だけではない！障害年金も引き下げられます。障害年金生活者にも呼びかけを！

障害年金も引き下げられます。障害年金者は全国195人です(2012年3月末)。その多くが障害基礎年金など月額10万円以下と低額です。その上、道内の障害者の就労関係事業所の平均工賃は月2万3578円で、障害年金者の生活は今でも大変です。障害年金者にも不服審査請求を呼びかけましょう。



年金、生活保護が下がって 冬を越せない 生活できない 一人で悩まないで

12・17 ぐらしのSOS なんでも電話無料相談 10:00~18:00

電話 0120-100-563 (フリーダイヤル通話料無料です)

主催 雇用・ぐらし・SOSネットワーク北海道